- 秋田県で狩猟される皆様へ-

出猟の記録に御協力いただき、誠にありがとうございます。

令和6年度のデータをとりまとめましたのでお知らせします。

データを積み重ねることで、ツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシがどこにどれぐらい生息しているのか、また、どのあたりで生息数が増えているのか、あるいは減っているのかなど、 県内の野生鳥獣の生息状況を把握することができます。

今猟期においても、県内の野生鳥獣管理に御協力くださるようお願いいたします。

目撃効率 (SPUE)について

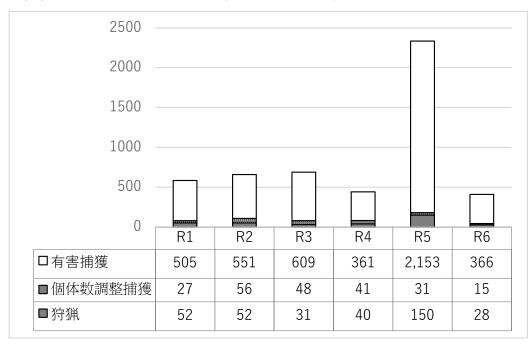
「目撃効率 (SPUE) = 目撃数:出猟班日」で算出しています。

例:123メッシュに3班日出猟して、3頭を目撃した場合は1.0頭/班日となります。この数値が大きいほど、対象となる動物の密度が高いことになります。。

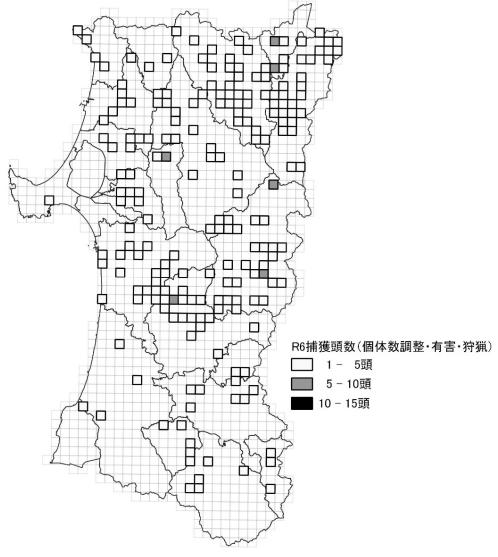
※令和6年度は、銃猟における目撃効率のみ集計しています。

1 ツキノワグマ

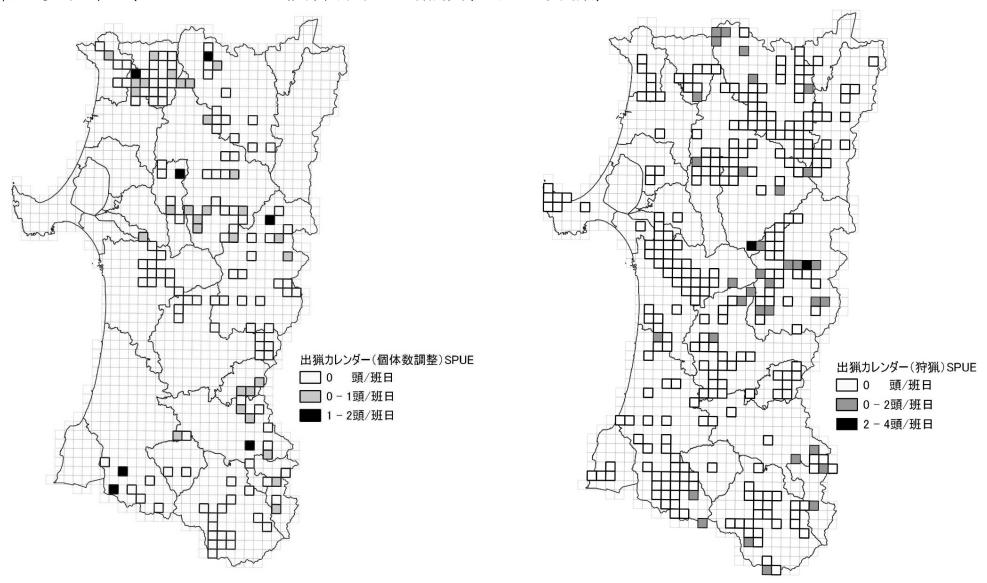
(1)捕獲数の推移(単位:頭)



(2)捕獲頭数分布



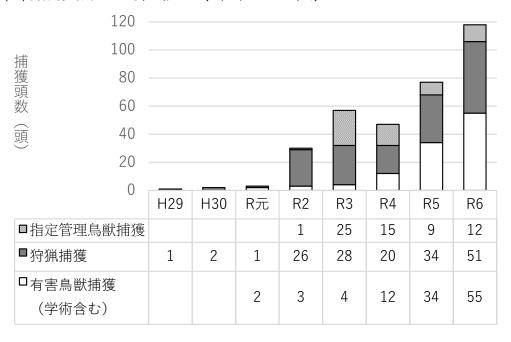
- 1 ツキノワグマ
 - (3)目擊効率(SPUE 左:個体数調整捕獲、右:狩猟)



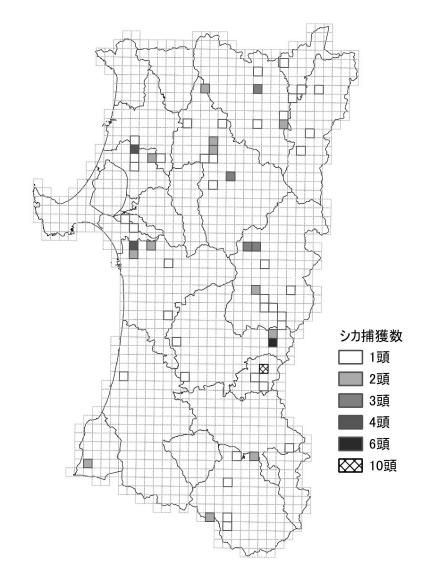
目撃効率 (SPUE):出猟班日あたりの目撃頭数 (例えば 123メッシュに3日班出猟して3頭の場合は、1.0頭/班日となります)

2 ニホンジカ

(1)捕獲数の推移(単位:頭)

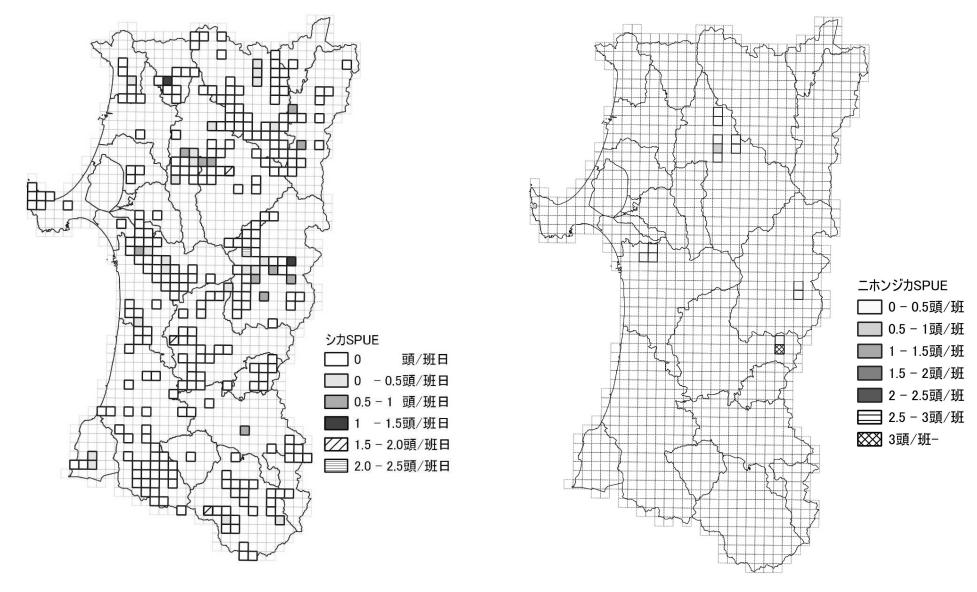


(2)捕獲頭数分布



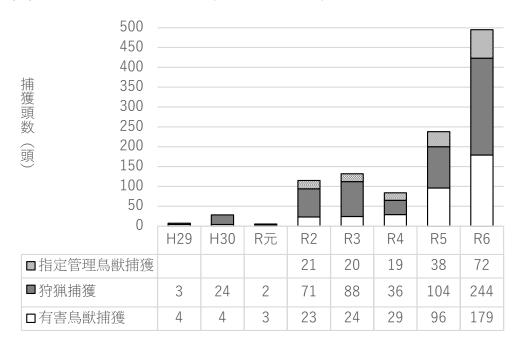
2 ニホンジカ

(3)目擊効率(左:狩猟、右:指定管理鳥獣捕獲等事業)

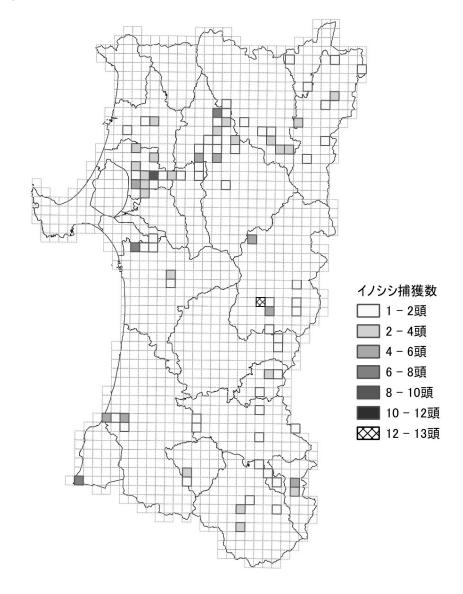


3 イノシシ

(1)捕獲数の推移(単位:頭)



(2)捕獲頭数分布



3 イノシシ

(3)目擊効率(左:狩猟、右:指定管理鳥獣捕獲等事業)

